

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山おおたかの森駅前市有地活用事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	02	01	10	01	52
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	誘致推進課					
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	主管課長	大津 真規					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山おおたかの森駅周辺	意図	市の新拠点として発展する。
事業内容	本市の新拠点を形成するために、民間活力を活かした事業手法により、流山おおたかの森駅前市有地に行政・文化・商業・業務など複合的な機能を持つ施設を整備する。導入機能、事業スキーム及び事業条件等の検証を行った上で事業者の公募、選定を行い、整備に向けて関係機関等との調整を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度に「市有地活用基本方針」を策定。平成26年度に公募支援業務の受託者を選定し、「実施方針」を策定するとともに外部有識者等5名で構成する「事業者選定委員会」を発足した。平成27年度に優先交渉権者を決定し、基本協定並びに事業契約を締結し、平成28年度に設計図書を作成、財産交換・地代減免に関する議会の承認を得て建設に着手。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 建設工事着手面積率	0	0	38.90	%	↑↑↑	建設工事着手面積/10,145㎡全体面積
	② 流山おおたかの森駅周辺人口	20,477	22,422	25,952	人	↑↑↑	駅から半径1km内の大字の住民基本台帳人口（年度末）
	③ TX流山おおたかの森駅1日当り乗車人数	32,100	33,135	34,702	人	↑↑↑	TXホームページから数値取得
	④ 東武流山おおたかの森駅1日当り乗車人数	26,379	26,855	27,619	人	↑↑↑	東武鉄道ホームページから数値取得
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	流山おおたかの森駅周辺における賑わいの創出と交流人口の増加。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・多目的ホールの設計に当たり、専門コンサルタントに設計アドバイザー業務を委託し、事業者と設計協議を進めるとともに、学識経験者による公共施設評価委員会を3回開催し、公共施設の計画案を取りまとめた。 ・平成28年第4回定例会で、財産の交換及び土地の減額貸付について議会の承認を得て、平成29年3月に安全祈願祭が執り行われ、建設に着手した。
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	10,499,920	11,352,600	24,462,780				
事業費(b)(円)	3,589,920	57,600	14,165,280				
うち一般財源	3,589,920	57,600	14,165,280				
職員給与費(c)(円)	6,910,000	11,295,000	10,297,500				
人役・職員(人)	1.00	1.50	1.50				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	公共施設の設計を取りまとめ、財産の交換及び土地の減額貸付について議会の議決を得た。	③取組の課題	財産の交換に係る公共施設の工事調整を図ること。
②今年度(H28)に実施した取組	公共施設の設計について、設計アドバイザー業務を委託するとともに、公共施設評価委員会を開催し、設計を取りまとめた。	④今後の改善計画	事業者及び関係課と調整を図ること。